

科目名		スポーツ 2							年度	2025	
英語科目名		Sports 2							学期	後期	
学科・学年		鍼灸科 2 年次		必／選	必	時間数	30	単位数	1	種別※	実技
担当教員		木本丈晴		教員の実務経験		有	実務経験の職種		鍼灸師		
【科目の目的】											
・ テーピング法の種類と特徴を理解する ・ テーピングに必要な人体の構造と機能、運動器障害の病態を理解する ・ 足関節内反捻挫予防のテーピング法を習得する											
【科目の概要】											
スポーツテーピング、ファンクショナルテーピング、キネシオテーピングの特徴を説明します テーピングの対象部位を足部、足関節、膝関節、肩関節、に設定し、①機能解剖 ②病態 ③テーピング法を説明します 対象部位のテーピング方法は、実際にテーピングを行いながら解説します 実技試験は足関節内反捻挫ソフト固定のテーピングで行います 口頭試問は対象部位の機能解剖、病態について行います											
【到達目標】											
A：テーピング法の種類と特徴を理解し、目的に応じて選択できる B：テーピングテープの種類と特徴を理解し、目的に応じて選択できる C：足関節内反捻挫ソフト固定のテーピングを実践できる D：ファンクショナルテーピングによる足関節内反捻挫予防のテーピングを実践できる E：肩関節のキネシオテーピングを実践できる											
【授業の注意点】											
参考資料、配布プリントをよく理解し、予習・復習を行うこと 実技の時間はテーピングができる服装を準備すること											
評価基準＝ルーブリック											
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい		レベル3 ふつう		レベル2 あと少し		レベル1 要努力			
到達目標 A	目的に応じてテーピング法を選択することができる	対象部位の機能解剖と病態を理解している		テーピング法の種類と特徴を理解している		テーピング法の種類を理解している		テーピング法の種類を理解していない			
到達目標 B	目的に応じてテーピングテープを選択することができる	対象部位の機能解剖と病態を理解している		テーピングテープの種類と特徴を理解している		テーピングテープの種類を理解している		テーピングテープの種類を理解していない			
到達目標 C	足関節内反捻挫ソフト固定のテーピングを実践できる	足関節の機能解剖と足関節内反捻挫の病態を理解している		アンカーテープ、スターアップの目的を理解している		アンダーラップの目的を理解している		テーピング時の注意を理解している			
到達目標 D	足関節内反捻挫予防のファンクショナルテーピングを実践できる	足関節の機能解剖と足関節内反捻挫の病態を理解している		スパイラルテープの効果を理解している		使用するテーピングテープを選択できる		テーピング時の注意を理解している			
到達目標 E	肩関節のキネシオテーピングを実践できる	肩関節の機能解剖を理解している		テープの貼り方を理解している		使用するテープの特徴を理解している		使用するテープの特徴を理解していない			
【教科書】											
なし											
【参考資料】											
解剖学 東洋療法学校協会編、配布プリント											
【成績の評価法・評価基準】											
実技試験（50％）、口頭試問（30％）、出席状況（20％）											
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。											

